市立加西病院新病院　基本設計概要

01 新病院の基本方針

新病院の目指す姿

■ 地域包括ケアシステムにおいて医療の中心的役割を担います。
■ 加西市民から医療保健全般で信頼される地域多機能型病院となります。
■ 地域、患者、働くものにとって魅力的な病院であり続けます。

診療・療養環境の充実
・患者にとって単なる治療の場でなく、元気に退院できる病院を目指します。

予防医療の充実
・健康増進、病気の早期発見を目指し、市民・地域の健康に寄り添います。

在宅医療の充実
・患者やその家族が退院後も安心して過ごせるよう、在宅領域を強化します。

働く環境の充実
・加西病院を支える職員に、「働きたい」と思われる職場を目指します。



外観イメージ図

医療提供体制

・基幹病院や周辺診療所との連携を強化し、急性期機能、サブアキュート・ポストアキュート機能を提供します。

急性期	・救急搬送受入（軽～中等度）、手術対応　　※一部診療科での提供 ・その他、高度急性期病院に搬送するか判断が付かない患者の救急搬送受入
サブアキュート	・かかりつけ医で対応が困難な患者への入院対応 ・在宅や介護施設等で療養中の患者の状態が悪化した場合の受入対応
ポストアキュート	・基幹病院や専門病院で高度・専門的な治療を行った患者への、継続的な治療、ケア、リハビリテーションなどの機能を提供　（診療所など地域の医療機関・施設と連携・役割分担し、対応する。）

・機能分化を図り、急性期病床を一定維持しつつ、不足している回復期病床を整備します。
・救急医療体制については、初期救急に対応し、在宅医療の対象患者、高齢者の救急受け入れを行います。
・在宅医療については、医師会と連携し、在宅療養支援診療所の後方支援を強化していきます。
・訪問看護ステーションの機能をさらに強化します。
・病気の早期発見、健康づくりに向けた健診などの予防医療の充実を図ります。

設計のコンセプト

地域とつながり、安心・信頼されるやさしい病院

すべての人が利用しやすいやさしい施設づくり
・低層（3 階建て）で誰もが使いやすいフロア構成
・患者・スタッフが効率よく動ける部門配置

地域に信頼される多機能型の施設づくり
・柔軟に患者を受け入れる1フロア3病棟（急性期1病棟、回復期2病棟）の病棟構成
・健診スペースの充実化

感染症に備えた安心の施設づくり
・救急部門には、新興感染症に備えた発熱外来を整備
・第二種感染症病床は4床整備

景観との調和を図り、環境に配慮した施設づくり
・公園（緑地）の整備
・省エネルギー化による環境負荷低減

02 計画概要

敷地概要

所在地	兵庫県加西市豊倉町
敷地面積	約 47,600㎡
地目	田、畑、ため池、山林、原野
都市計画区域	都市計画区域内
用途地域	用途地域の指定のない区域
特定用途制限区域	地域拠点形成地区
容積率	200%
建蔽率	60%

建物概要

■ 病院棟	
階数	地上 3 階建て + 塔屋
構造	鉄骨造（耐震構造）
延べ面積	約 12,240㎡
■ 付属棟（廃棄物庫）	
階数	地上 1 階建て
構造	鉄骨プレハブ造
延べ面積	約 120㎡
■ その他	
エントランス歩廊、自転車置場、バイク置場、バス停、RI 排水処理設備置場、受水槽ポンプ置場	
駐車場：合計約 550 台（患者用 約 260 台、職員・管理用 約 290 台）	

病床数

［基本構想・基本計画時］	
199 床	
急性期	94 床
回復期	99 床
第二種感染症	6 床

⇩

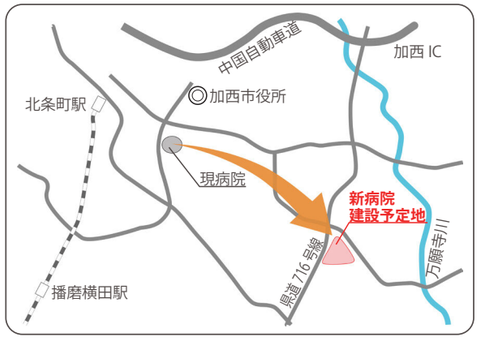
［新病院］	
136 床	
急性期	52 床
回復期	80 床
第二種感染症	4 床

※開院に向け、計画的に減床させています。（現在 163 床）

03 配置・動線計画

配置図

・新病院は利便性に優れた平地へ新築移転します。
・病院棟は計画敷地中央に配置し、周囲に来院者、職員駐車場を配置します。
・公園（緑地）は計画敷地北側に配置し、病院からアクセスできる出入口を計画します。



位置図



市立加西病院新病院　基本設計概要

04 施設計画

フロア構成

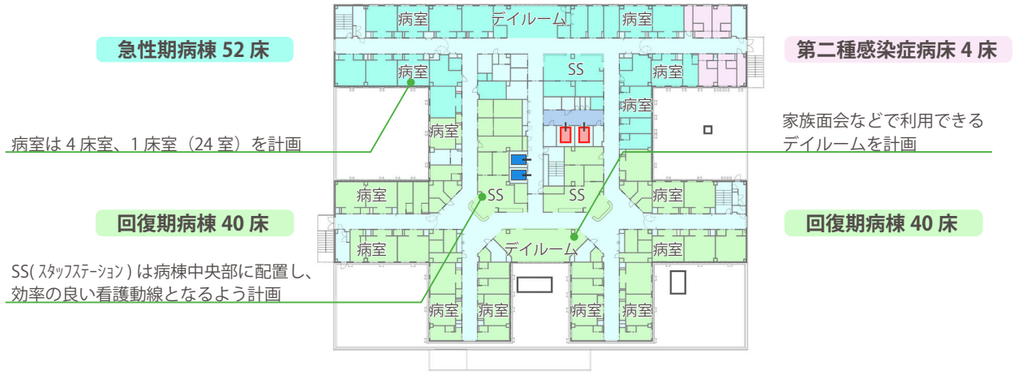
1階　外来・中央診療・健診・管理エリア

・外来・中央診療機能を集約し、来院者動線を短縮した利用しやすい計画とします。



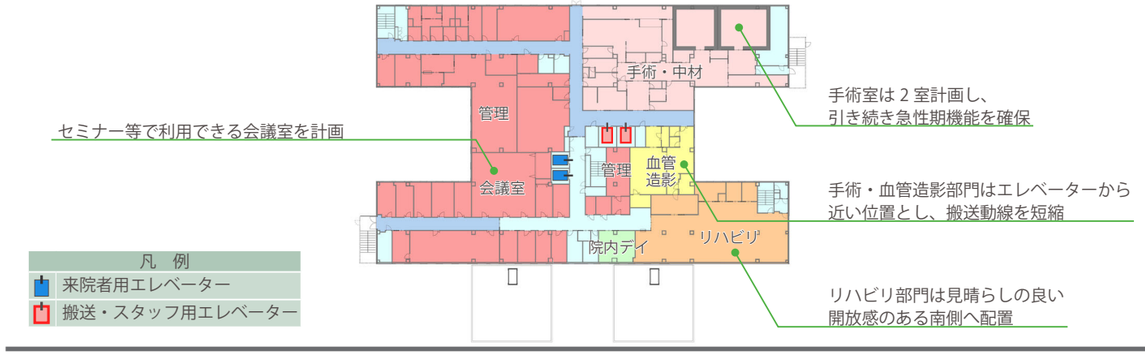
2階　病棟エリア

・1 フロアに 3 病棟 (急性期 1 病棟、回復期 2 病棟) を集約した計画します。



3階　手術・リハビリ・管理エリア

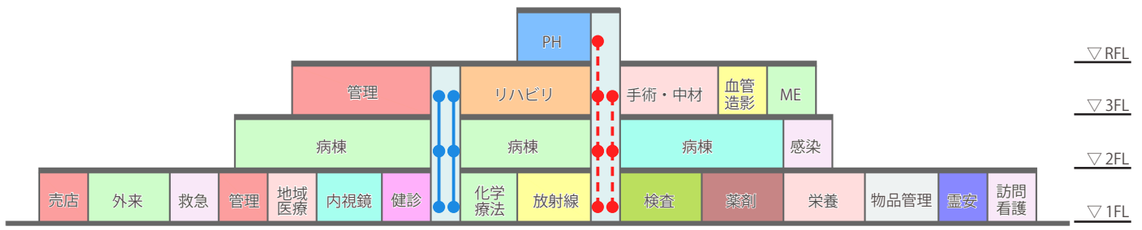
・手術・血管造影検査等の急性期機能と、外来・入院患者が使用するリハビリ部門、管理部門を配置します。



断面計画

・3 階建ての建物構成とします。
・フロア移動の中心となるエレベーターは
建物中央付近に集約し、来院者用、
搬送・スタッフ用に分けた配置とします。





05 環境配慮

・省エネ技術による ZEB-Oriented ※の取得を目指します。
・空調、照明の自動制御等、エネルギー消費を制抑するとともに、高効率設備や自然エネルギーを活用し、
脱炭素社会の実現に貢献します。
※ ZEB（Net Zero Energy Building）-Oriented は、高断熱化、高効率設備等により、年間の一次エネルギー
消費量の数値をモデル建物に比べて３０%以上削減した高性能省エネ建築物です。

06 概算事業費

・新病院建設に係る概算総事業費は、現時点で、約 186.9 億円を見込みます。
・総事業費については、実施設計の中で精査を進め、可能な限り圧縮することに努めていきますが、昨今の
情勢に伴う建設費用の変動により増加する可能性があります。

区　分	概算金額	備　　考
土地・造成工事費	14.6 億円	用地買収費、用地測量費、造成工事設計・監理費、造成工事費 等
建築工事設計監理費	3.6 億円	建築工事基本・実施設計費、工事監理費 等
建　築　工　事　費	150.7 億円	建築工事費、外構工事費 等
機 器 等 整 備 費	16.5 億円	医療機器備品整備費、情報システム整備費
そ の 他 の 経 費	1.5 億円	基本構想・計画業務委託費、開院支援業務委託費、移転費 等

07 事業スケジュール

・新病院の今後の事業スケジュールは以下の通りで、R12 年度の開院を目指します。

R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度	R12 年度
造成工事実施設計	造成工事			移転 / 開院
建築工事基本設計・実施設計		建築工事		